

# 四国西予ジオパーク構想 推進セミナー

**ジオパークとは** ジオパークとは、学問上重要な地質や地形などの地質遺産を含む一種の自然公園です。ただ、地質のみを対象としているわけではなく、貴重な価値を持つ自然遺産や文化遺産も含まれます。

ジオパークでは、これらの貴重な遺産の保全・活用を通じて持続可能な地域社会の活性化を目指します。

現在日本では、20地域がジオパークと認定されており、内5地域は世界ジオパークに認定されています。



**日時** 平成24年7月7日(土) 14:00~16:30 開場13:30~

**会場** 愛媛県歴史文化博物館 多目的ホール

**参加費** 無料 セミナーへの参加を希望される方は、電話、FAXまたはe-mail、にて7月4日(水)までに事前申込みをお願いします。

**定員** 300名 ※定員に余裕がある場合は、当日の参加も可能です。詳しくは裏面をご覧ください。

## 演題 ジオパークの楽しみ方



日本ジオパーク委員会事務局長  
独立行政法人産業技術総合研究所  
地質標本館アトリーチ推進グループ長

**渡辺 真人**  
(わたなべ まひと)

### プロフィール

1962年、愛知県生まれ。博士(理学)。  
京都大学大学院理学研究科修士課程地質学鉱物学専攻修了、通産省工業技術院地質調査所入所。現在、独立行政法人産業技術総合研究所地質標本館アトリーチ推進グループ長、2006より日本におけるジオパークの推進に関わり始め、2008年から日本ジオパーク委員会事務局長。2011年4月、平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術賞)を受賞。

## 演題 ジオパークは地域を変えられるか？



室戸ジオパーク推進協議会

**柚洞 一央**  
(ゆぼら かずひろ)

—四国初の世界認定を果たした  
室戸ジオパークで起きていること—

### プロフィール

1975年、栃木県生まれ。博士(文学)。  
琉球大学法文学部、筑波大学大学院教育研究科、北海道大学文学研究科にて地理学、環境社会学、地理教育を専攻。琉球大学、北海道教育大学、札幌学院大学非常勤講師を経て、2011年5月より室戸ジオパーク推進協議会地理専門員として勤務。



## 四国西予ジオパーク構想とは

海拔0mから1,400mの標高差をもつ西予市には、宇和海リアス式海岸や四国カルストなどに代表される美しい地形、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された町並み、古代の遺跡や古墳、棚田やだんだん畑など、ジオパークの資源として素晴らしいものがたくさん存在しています。

特に、九州から四国を経て紀伊半島さらには関東まで点々と連なる、「黒瀬川構造帯」は、旧城川町の前身である黒瀬川村から名づけられている本市ゆかりの地質帯です。日本最古級でなおかつ周りとは異なる地質を有する、地質学においては非常に重要な場所です。

これら、市内各地に数多く残されている地域資源を、「地域の宝」として住民が誇りに思い、ジオの面白さに気付き楽しむ、そして、その素晴らしさを訪れた人たちに楽しんでもらう仕組み作りが、四国西予ジオパーク構想です。



お申込みの  
詳細は裏面へ

### 問い合わせ先

〒797-8501 愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1 西予市産業建設部商工観光課 ジオパーク推進室  
TEL: 0894-62-6408 FAX: 0894-62-6542 e-mail: shoukoukankou@city.seiyo.ehime.jp

西予ジオパーク構想HP <http://www.seiyo1400.jp/geopark/>